

テーマ よる

しよめい	ちよしゃ	しゅつぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
よるのびょういん	谷川俊太郎／作 長野重一／写真	福音館書店	Eホン/ナ	よる、たかいねつがでたゆたかは、きゆうきゆうしゃで、びょういんへはこばれました。もうちょうえんです。すぐにしゅじゅつのじゅんぴがはじまります。おいしゃさんやかんごふさん、ほいらーまん、まよなかでもびょういんでは、いろんな人(ひと)がはたらいています。
いそがしいよる ばばあちゃんのおはなし	さとう わきこ／さく・え	福音館書店	Eホン/サ	こんやは、きれいなほしぞら。ばばあちゃんは、そとにいすをだしてながめていると、きれいなつきができました。よぞらをひとばんじゅうながめなくなったばばあちゃんは、ベッドをそとにだしました。こんどは、おちやがほしくなり、つきからつきとはこびだします。
しまふくろうのみずうみ	手島 圭三郎／絵・文	リブリオ出版	Eホン/テ	ほっかいどうのやまおくに、だれもしらないみずうみがありました。ゆうひがしずみ、けものたちがねぐらにかえるころ、さかなをとりにしまふくろうのおやこがあらわれました。しずまりかえたみずうみを、おとうさんはいきおいよくまいあがりました。みつけた！
おやすみなさいおつきさま	マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく クレメント・ハード／え せた ていじ／やく	評論社	SIホン	よるです。こうさぎはベッドのうえです。 おばあさんやねこやねずみ、ベッドのまわりのさまざまなものに「おやすみ」のあいさつをします。 まどからみえるつき、ほし、よぞらにも「おやすみ」をいって、こうさぎは、ねむりにつきます。
よるのいえ	スーザン・マリー・スワンソン／文 ベス・クロムス／絵 谷川 俊太郎／訳	岩波書店	Eホン/ク	おひさまがしずもうとしています。そとからかえてきたおんなのこはかぎをあけていえのなかへ。あかりのともったじぶんのへやにはいり、ほんをひらくと…。 つきとほしがうつくしくかがやくよるをしろ、くろ、きいろの3つのいろでえがいた詩(し)のえほん。
まよなかのぼうけん	フィリップ・デュマ／さく・え やまぐち ともこ／やく	福音館書店	Eホン/テ	にんぎょうのこどもとにんげんのこどもが、まよなかにいえからぬけだしてあそぶ、ふしぎなおはなしです。ほしをながめ、くさはらをかけめぐっているうちに、よがあげてきました。こどもたちはいそいでいえにかえり、ベッドにもぐりこみました。